

スクールトピックス



ガーナ選手にエールを送る吾妻中の生徒

東京五輪ガーナ選手を激励

吾妻中学校ガーナ選手壮行会

吾妻中学校ガーナオリンピック出場選手壮行会は7月16日、同校で開かれました。吾妻中の全校生徒が参加し、東京オリンピック競泳競技出場に向けて同校のプールでトレーニングを積んでいたガーナのアベイク・ジャクソン選手(男子100㍓バタフライ)とユニレス・イエボワ・タキィ選手(女子50㍓自由形)を激励しました。

当日は約2週間にわたって行われた事前合宿の最終日で、同校のプールで練習を行ってきた2選手を応援しようと企画されました。

壮行会では、応援団の掛け声に合わせて生徒全員が気持ちのこもったエールを送ったほか、記念品として英語で書いた応援メッセージを選手にプレゼントしました。

ジャクソン選手は「私たちにプールを貸してくれて感謝しています。オリンピックでは吾妻中の皆さんと一緒に戦います」とお礼の言葉を述べました。



お礼の言葉を述べるジャクソン選手(左から2人目)

ガーナ選手らと交流深める

緑小学校オンライン交流会

緑小学校6年生の児童14人は7月19日、東京オリンピックのガーナ選手団らとのオンライン交流会を開きました。ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を使い、緑小学校とオリンピック選手村、在日ガーナ大使館を結んで行われました。

ガーナ選手団からはボクシングと柔道に出場する選手4人が参加。児童は画面を通じて「オリンピックを目指したきっかけは?」、「普段の練習で苦労していることは?」などと質問し、選手が気さくに答えました。

また、この日の町内の小中学校の給食には、ガーナの食文化に親んでもらおうとガーナ風の献立が用意され、トマトソースで炊いたジョロフライスやオクラを使ったオク羅斯ープ、鶏肉のハニーマスタード焼き、ガーナ国旗の3色をイメージしたサラダが提供されました。6年生の小檜山悠斗さんは「ジョロフライスは見た目よりも歯ごたえがあります。スパイシーな香りがおいしいです」と感想を話しました。



オンラインで交流を深めた緑小6年生の児童ら



給食で提供されたガーナ風の献立

ホットニュース



民族衣装を试着して「ジャンベ」を叩く来場者



ガーナ選手を紹介する写真と手形

和みいな企画展「ガーナ展 Let's Learn about Ghana!」は7月20日から8月22日まで、和みいなで開かれています。東京2020オリンピック・パラリンピックで本町のホストタウン相手国であるガーナについて身近に感じてもらおうと企画しました。会場内には、本町で東京オリンピックの事前合宿を行ったボクシング、重量挙げ、競泳の6人の選手を紹介する写真や手形、等身大のパネルなどが展示されたほか、安産や子孫繁栄を願って作られる木彫りの人形「アクアバ人形」などが展示されています。体験コーナーでは、ガーナの民族衣装の试着や「ジャンベ」と呼ばれる太鼓を実際に叩くことができます。

また、町内の小中学生がガーナ選手を応援する活動を紹介します。動画が流されているほか、猪苗代中学校の生徒が作成したガーナの文化などを紹介したパネルが設置されています。

和みいなでガーナ文化を紹介

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に!
地域おこし協力隊

橋本 真由さん

主な活動内容：有害鳥獣対策



昨年度より有害鳥獣対策を担当している地域おこし協力隊の橋本真由です。主な活動内容としては、サル等の群れの行動調査と5月から11月までの鳥獣被害対策メールマガジンの配信を担当しています。

今年度からは、電気柵の設置方法の指導やクマの出没対応も行うようになり、町民の皆さんから声を掛けていただくことが増えてうれしく思っています。

さて、7月に入ってから、全国的にツキノワグマやヒグマによる人身被害のニュースを見る機会が増えてきました。県内においては、7月31日まで「ツキノワグマ出沒特別注意報」が発令されていました。7月8日には喜多方市でツキノワグマが市街地に出没して建物内に逃げ込み、鳥獣被害対策専門員が対応にあたったことが新聞やテレビで報道されました。

この原稿を執筆している7月末現在、幸いにも町内では目立った被害は発生していませんが、人身被害が発生しないようこれからも気を引き締めて業務に取り組んでいきたいと思えます。